

図書 紹介

現代社会の脅威!!ノロウイルス

感染症・食中毒事件が証すノロウイルス伝播の実態

著者：西尾 治（国立感染症研究所）・古田太郎（サラヤ(株)）

発売元：㈱幸書房 / 〒101-0051 東京都千代田神田神保町3-17 / 048-3512-0615 /

B 5 判 / 254頁 / 価格3500円（税別） / 2008年2月15日発行

2004年末から2005年の初めにかけて高齢者特別養護施設においてノロウイルスによる急性胃腸炎が全国的に多発し、さらに2006年11月から2007年の初めにも小児、学校、高齢者施設などでノロウイルスによる急性胃腸炎による人-人集団感染、食中毒が全国的に発生した。その年にはノロウイルスによる感染症・食中毒の件数・患者数ともにトップとなり、ノロウイルスは最も重要な感染症・食中毒の病因物質として位置づけられるようになった。

2008年6月には「大量調理施設衛生管理マニュアル」が改正され、食中毒菌の死滅の目的にノロウイルスを意識した内容に変更され、検便検査には10～3月の期間必要に応じてノロウイルスを含めることや嘔吐物の処理などが追加され、ノロウイルス対策が講じられている。

本書は、現場でどのような対策を取ればよいかという前書「つけない・うつさない・持ち込まない ノロウイルス現場対策 その感染症と食中毒」(監修：丸山 務監修、㈱幸書房 2006年3月)の事例集であり、過去の事例からその経路と健康被害を学び、実務に生かすにはもってこいである。その内容は、1．ノロウイルスの概要、2．ノロウイルス感染症対策としての手洗いと消毒3．国内での事例 - 詳細版 -、4．国内での事例 - 要約版 - 5．海外での事例 - 詳細版 -、6．海外での事例 - 要約版 - 及びと資料(各種調査票など)からなっている。

ノロウイルスの概要では、ノロウイルスの歴史、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の発生状況、ノロウイルスの感染様式、食中毒の感染様式、検査のポイント、ノロウイルスによる感染症、病院・施設での患者発生時の対応についてなどである。

次にノロウイルス感染症対策としての手洗いと消毒では、感染経路からみた手洗いと消毒の重要性、ノロウイルスを殺すには、ノロウイルス対策としての消毒と手洗いなどである。

国内の事例では、高齢者福祉施設、病院、学校、飲食店など、二枚貝、宴会場及び遊

難所についてのタイトル、発生地、原因、文献、著者、発生状況、行政指導、重要事項及び備考からなり、特に発生状況は詳しい。次いで要約事例では、高齢者福祉施設、病院、障害者施設・福祉施設、幼稚園・保育所、催し物・集会、飲食店・レストラン・ホテル・旅館などにおける発生事例で、タイトルと数行の文献要約が載せられている。

外国の事例では、高齢者福祉施設、病院、学校、イベント・キャンプ、ホテル・レストラン、航空機・客船などについて国内の詳細版と同様な構成になっており、次いで要約では高齢者福祉施設、病院、保育所・学校関連、催し物・集会・キャンプ、ケータリング、飲食店・レストラン・ホテル・旅館、軍隊・避難所などのノロウイルス汚染による集団発生、地域および多国間にまたがる大流行についても国内と同様である。

巻末の資料では、食中毒事件調査依頼票、喫食状況調査、検体検査票、集団の欠席・欠勤及び発生状況調査、個人調査票、症候学的及び疫学的調査チェックリスト、施設調査チェックリスト、措置等チェックリスト及び食中毒調査結果一覧（様式1号～12号）などである。

本書は、巻頭にあるようにノロウイルスの原因追求と予防対策は、その正体と特性を知ることであり、過去の事例からその経路と健康被害を学び、職場や学校において問題点の点検や弱点の改善につなげられることから、高齢者施設、養護施設等、学校などの関係者には是非手元において活用してほしい一冊である。（学会事務局）